

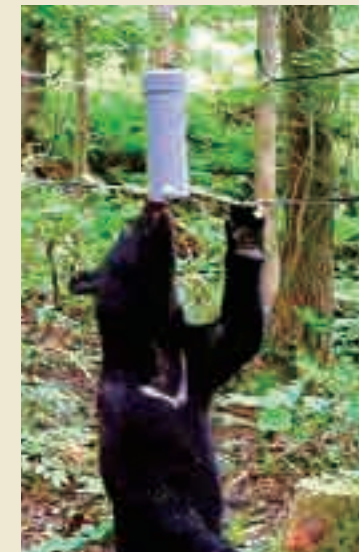
なぜ?なに?やま・もり

山や森についてもっと知ろう!

近年、クマをはじめとした野生動物が市街地に出没し、人に危害を加えたり、田畑を荒らして農作物被害をもたらす事例が増加しています。昨年、クマの出没について、全国的にも大きなニュースになりました。なぜ、野生動物は人の生活圏によく出没するようになったのでしょうか?



01 クマの出没が増えたのは、クマが多いから?



カメラトラップにより撮影されたツキノワグマ

県ではクマの生息数を推定するために生息状況調査を行っています。生息状況調査は目視調査とカメラトラップによる調査があります。目視調査は、実際に見たクマを数えています。カメラトラップ調査では、自動撮影カメラで撮影します。県内にいるクマはツキノワグマです。

トリードマークでもある胸の「月の輪」の形は、クマによって異なります。カメラで撮影された「月の輪」で個体を識別し、何頭のクマが映ったかを確認しています。

2つの調査結果を基にクマの生息数を推定しており、令和4年度当初の県内生息数は約2,000頭と推定されています。



春もクマに注意!!

- ・ラジオやクマ鈴、笛など、音の出るもので、クマに人の存在を知らせましょう。
- ・子連れのクマに注意してください。
- ・万一、クマに出会ったら、背を向けずに、ゆっくり後退してください。
- ・生ごみなどを放置しないでください。
- ・クマは河川敷などの緑地に隠れて移動します。刈り払いでクマの市街地出没を防ぎましょう。



ツキノワグマ

02 クマの出没が増えたのは、ブナの実が凶作だったから?

森は、食料となる木の实が豊富にあり、クマなどの野生動物にとって大切な生息の場です。



豊凶結果



03 クマの出没が増えたのは、森林を放置しているから?

野生動物が人の生活圏によく出没するようになった理由の1つとして、里山の耕作放棄地の増加のほか、人が里山林の手入れをしなくなり、荒れた里山林が増加していることも考えられます。

山形県では、「やまがた緑環境税」により、荒れた森林を緩衝帯として整備し、クマ等野生動物の出没を防いでいます。



*侵入防止柵の設置はやまがた緑環境税事業対象外

特にブナやナラ類の木の実、野生動物の食料として大きな役割を果たしています。毎年たくさん実をつけるには、豊作の年や凶作の年があります。その実り具合が森林の若返りや野生動物の生息に影響を与えていると考えられるため、ブナとナラ類の豊凶調査をしています。



ブナの豊凶調査の様子

人と野生動物のすみかとの間に空間を作り、人と動物の生活の場を分けています。

